

主催：名古屋大学 附属図書館医学部分館 / 大学文書資料室

企画展

戦争と大学

ふたたび

— 軍医と銃後 —



2016 11. 25 FRI - 12. 26 MON
9:00-21:00

名古屋大学中央図書館 2階 ビブリオサロン

(東山キャンパス、地下鉄「名古屋大学駅」下車、中央図書館入館ゲート手前)

近代の日本が戦争を遂行するにあたり、戦場で活動する軍医は不可欠な存在でした。とくに1937年に日中戦争が始まると、軍から大量かつ急速な育成が求められるようになります。同時に、国内で戦争を支える「銃後」の体制づくりが叫ばれました。本学を含む大学は、これらにどのように関わったのでしょうか。附属図書館医学部分館と大学文書資料室の所蔵史料の中から、軍医と銃後に関わる当時の図書・写真・医療器具等によって展示します。なお本企画展は、今年6～9月に附属図書館医学部分館で開催された同テーマのミニ展示を増補したものです。

【ご連絡先】 大学文書資料室 (東山) ☎052-789-2046 / 附属図書館医学部分館 (鶴舞) ☎052-744-2505

【関連企画】 愛知県立大学日本文化学部企画「戦争と大学 —愛知県史展—」

(2016年12月15日～2017年1月31日、於愛知県立大学長久手キャンパス図書館)